

第2回

「和歌山を、宇宙からの防災・教育の拠点に」 シンポジウム

日時：3月22日（日） 13:00～17:00（12:30 開場）

場所：和歌山大学 基礎教育棟 101号教室（定員 250名）和歌山県和歌山市栄谷 930

事前申込み・不要 参加費・無料

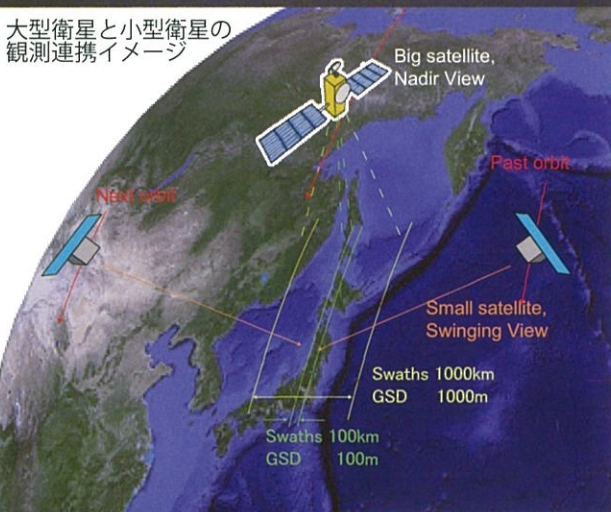
主催：和歌山大学（和歌山大学宇宙教育・防災構想実行委員会）

共催：国土交通省近畿地方整備局

後援（予定）：和歌山県、和歌山市、内閣府宇宙戦略室、
経済産業省、文部科学省、気象庁、総務省、
東アジア・アセアン経済研究センター

2014.10.19. 撮影

大型衛星と小型衛星の
観測連携イメージ



台風や地震、津波・土砂災害など、多くの災害に直面する和歌山に、国内の防災関係者・研究者が集結し、取組を紹介します。

＜プログラム概要＞（予定）

- 13:00 来賓挨拶：二階俊博 衆議院議員（予定）
「国土強靱化と和歌山における防災・教育」
- 13:30 防災への取り組み紹介
柴崎亮介 東大教授、山本孝二 元気象庁長官、秋山演亮 和歌山大教授、
桜井亘 紀伊山地砂防事務所所長、江種伸之 和歌山大学教授
- 15:40 パネルディスカッション
松井孝典 千葉工業大学 PERC 所長、西村英俊 ERIA 事務総長、
小宮義則 内閣府宇宙戦略室長、石川好 ノンフィクションライター
前掲の御来賓・御講演者の皆様

左図 和歌山大超小型衛星
UNIFORM-1 撮影
御嶽山噴火 可視画像

真上に伸びる噴煙が
白く見えています。

2014.10.19. 撮影

右図和歌山大超小型衛星
UNIFORM-1 撮影
御嶽山噴火

真上に伸びる噴煙は
温度が低いため黒く、
その右下に噴火口の
熱源が白く見えています

2014.10.19. 撮影

主な登壇予定者



衆議院議員
自由民主党和歌山県連会長
二階俊博



千葉工業大学
惑星探査研究センター所長
松井孝典



和歌山大学 学長
山本健慈

第2回「和歌山を、宇宙からの防災・教育の拠点に」シンポジウム

国土交通省近畿地方整備局と和歌山大学は、「国土強靱化 海を渡る」国家政策の一環として、防災に関する協力協定を締結し、実践的な取り組みを行っています。

特に地域の安心・安全機能を高めるため、「防災」に「宇宙からの視点」や「宇宙情報インフラ」の観点を取り入れ、災害現場での新しい利用方法を検証しています。また昨年の御嶽山の噴火に際しては、国などが保有する大型衛星と連携し、和歌山大学が代表を務める超小型衛星を利用した迅速な被災地観測を実施しました。

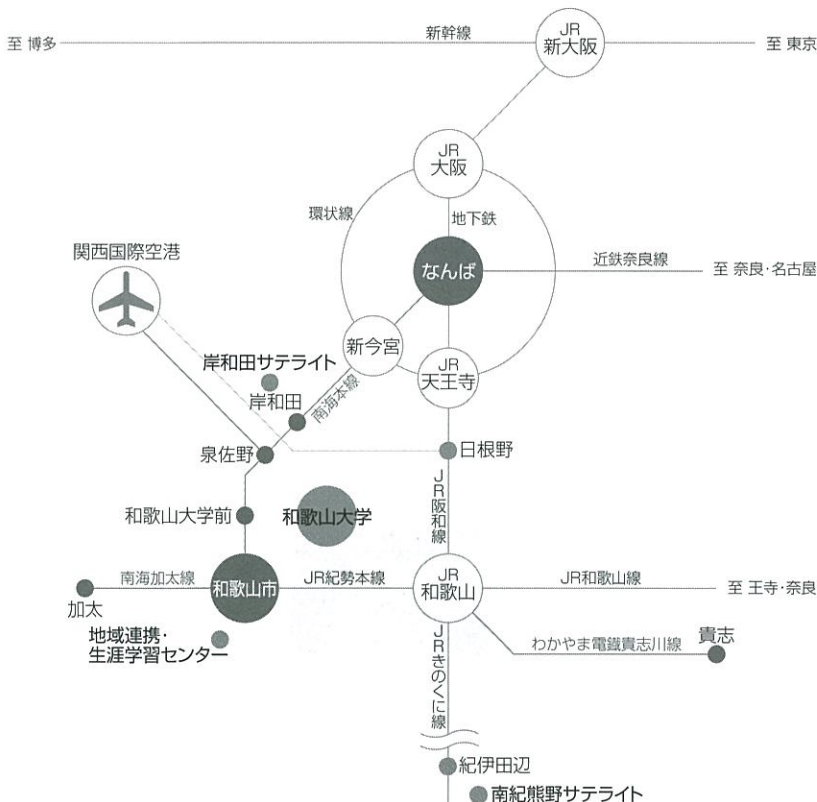
これらの活動は「東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）」の委員会でも紹介され、防災インフラを必要とする新興国での利用検討が進められると同時に、今後の協力関係に寄与する人脈の構築が期待されています。

国土交通省近畿地方整備局では、平成26年4月、和歌山県那智勝浦町に「大規模土砂災害対策技術センター」を設置、また大学・研究機関・自治体等の関係機関との連携および協力を得て、研究・開発を進めるため、「大規模土砂災害対策研究機構」を設立しました。この活動の一環として、和歌山大学と土砂災害現場における新しい計測システムの構築実験等を開始しています。

本シンポジウムでは国内外の関係者・研究者が参集し、このような取組を広く一般の皆様を紹介すると同時に、災害に対する想いを共有することを目的としています。多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

和歌山大学へのアクセスのご案内

●電車でのアクセスマップ



●アクセスマップ



- 南海和歌山大学前駅から
徒歩で約20分、
和歌山バス（和歌山大学前駅東口バス停 和歌山大学行き）で約4分
 - 南海和歌山市駅から
和歌山バス（6・7番乗り場 和歌山大学行き）で約20分
 - JR和歌山駅から
和歌山バス（4番乗り場 和歌山大学行き）で約30分
- ※いずれも「和歌山大学」バス停下車